



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2012~2013 (平成24年~25年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日



2012~2013 RI テーマ 「地域のために未来への奉仕」

《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：釧路全日空ホテル 釧路市錦町3-7》

会長 坂口 裕二 幹事 井岸 武雄

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 8月20日 12:30

普通例会

新世代のための月間に向けてのプログラム

《次回のプログラム》 8月27日 12:30

普通例会

会員卓話 (直前会長・幹事)

2012年 8月20日(月) 第6回 通算1976回

【点鐘】 坂口会長

【ロータリーソング斉唱】「四つのテスト」 ソングリーダー： 小泉和史 会員

【お客様と来訪ロータリアンの紹介】

釧路市議会議員 月田光明 様

【会長挨拶】 坂口会長



こんにちは。まずもって月田市議におかれましては大変お忙しい中、例会の講師をお引受けいただきまして誠にありがとうございます。

さて、ロンドンオリンピックも終わり、日本が過去最多のメダルを獲得したということで連日テレビで放送されていますが、先日ある番組でコメンテーターが「今回のメダリストのインタビューを観ていると喜びの言葉の前に『感謝』の言葉を口にしている、両親、家族は勿論、一緒に頑張ってきた仲間、スタッフ、そして国民に必ずと言って良いほど、『感謝』の気持ちを表している」とコメントしていました。さらにそのコメンテーターは「日本人は元来そういう

気質があるが、昨年の東日本大震災を経験して、一段と「感謝」の気持ちを大切にしようになったのではないかと話しておりました。私もオリンピック中継を観ていてそれは感じておりましたが、その事は簡単なようではなかなかできることではありません。選手たちはメダルを獲得するために何年も必死に努力を積み重ねてきたわけですから、それが達成された時はなりふり構わず歓喜の声をあげてもおかしくない状況だと思います。そんな時にまずは「感謝」の気持ちを表すというのは本当に素晴らしいことだと感じました。私自身、事がうまく運ぶと自分一人が頑張ったように、自分で自分を褒めてしまう性格ですので、これからは、人間は一人ではできないことは限られている、ほとんどの事は誰かの力を借りたり、協力があつたおかげで今があるんだという事を肝に銘じて行きたいと思います。

【幹事報告】三木副幹事



1. 近隣クラブより会報等。
2. 釧路ロータリークラブより全道中学親善硬式級大会釧路（8/25・26）パンフレット。
3. 米山梅吉記念館より館報。
4. さいたまユネスコ協会よりネパール奨学支援プロジェクト活動協力の要請。

【委員会報告】

広報委員会 張江委員長

ロータリーの友8月号の紹介

横組み P5～P10、P11～P16、縦組みP2～P6の紹介

親睦活動委員会 大場委員長

★入会記念 大場会員

佐藤雅会員

★本人誕生 鶴田会員



【本日のプログラム】

担当 社会奉仕委員会

■新世代のための月間に向けてのプログラム

《社会奉仕委員会 櫻田委員長》



本日のプログラムは「新世代のための月間プログラム」となっております。本日釧路市議会議員、月田光明様にお越しいただき、高等支援学校を誘致に向けてについてのお話を頂戴致します。お話をいただく前に簡単ですが月田様のご略歴を発表させていただきます。

昭和31年富良野市生まれ

釧路江南高等学校、専修大学商学部卒

平成5年釧路市議選に初当選 現在5期

民生福祉常任委員長、監査委員を経て現在副議長

市議会基礎学力問題研究議連代表

釧路の教育を考える会副会長

平成23年9月「釧路に道立高等支援学校を誘致する有志の会」の設立と同時に代表に就任

《月田光明 様》



1 自己紹介

2 特別支援学校とは

学校教育法第72条に規定された教育機関。2007年4月1日以降に新設された盲学校、聾学校、養護学校がそれぞれこの名称になった。

設置の目的は「視覚、聴覚、知的、身体それぞれの障害児に対して、幼稚園、小学校、中学校または高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上または生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識技能を授けること」

3 釧路根室地域の現状

ア 釧路養護学校（小・中・高）

昭和54年養護学校義務化の年に開校／普通科／知的特別支援学校／高等部は重度・重複重度を対象肢体不自由との重複2割／自閉症との重複5割／平成23年度募集 重度2学級16名 重複重度2学級6名／平成24年度同 3学級24名同3学級9名／釧路根室地域 3学年7学級153名（寄宿舍併設型）

イ 白糠養護学校（小・中・高）

昭和55年肢体不自由児療護施設白糠学園に併設北海道社会福祉事業団／入所型／平成17年特別支援教育を本格実施／普通科・重複／平成23年度募集 重複2学級6名／平成24年度同 3学級9名（1学級3名増）計7学級

ウ 中標津高等養護学校（高）

平成8年知的高等支援学校として開校／職業学科／平成24年度募集 56名 産業科16名 木工科14名 クリーニング科4名 家庭生活科7名 生活園芸科8名 入学者合計49名／在籍生徒数153名／内釧路地域生78名（約半数余）

4 釧路高等支援学校の動き

平成20年3月策定「北海道特別支援教育に関する基本方針」一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育を推進する。

→できる限り身近な地域において指導や支援を受けられる体制を整備し、きめ細かな教育を推進する。

平成22年9月策定「特別支援学校の配置に関する考え方」

→身近な地域において教育を受ける機会を確保できるよう、高校などの道有資産や市町村の小・中学校の空き教室・空き校舎などの既存施設を活用した分校・分教室の設置を含め、受入れ体制の整備を図る。

5 誘致する会の設立

平成23年9月21日 釧路地区発達障害親の会（グリーンの会・25名）の呼び出し

堀口クリニック女医先生の紹介 月田次男が広汎性発達障害釧路に高等支援学校誘致運動を始めたい

平成23年11月20日 釧路に高等支援学校を誘致する有志の会 設立総会

構成団体 グリーの会／北海道自閉症協会釧路分会／北海道子鳩会釧路分会

釧路地区 ADHD・LD・PDD 懇話会／釧路養護学校保護者の会／釧路手をつなぐ育成会顧問／釧路市・釧路総

6 署名運動 平成23年11月20日～平成24年1月31日
目標1万筆／最終集計 44,092筆／53企業・団体の協力／市役所・市教委他行政団体の協力／平成24年2月17日 平成26年度開校を求める要望書を高橋はるみ知事 高橋教一教育長に提出

7 開校の見通し 平成24年8月10日 第2回道教委による説明会

○釧路市に設置

○平成26年度に2学級（定員16名）の確保を検討

特別支援学級在籍数 現在中学校2年生の知的、自閉・情緒障害児釧路市43名（釧根圏では88名）

中標津校の定員 56名 + 釧路分校定員16名 = 72名の間口確保が道教委の考え方誘致する会の希望・・・分校ではなく単独校 独自に出願を受ける

旧西高校舎に1学年3学級24名（知的+情緒）情緒障害児は4人部屋の寄宿舎生活は困難／遠距離の送迎困難／家庭の救済／釧路養護学校の狭隘化の解消

《坂口会長謝辞》

大変分かり易く、情熱が感じられるお話をありがとうございました。一言で養護学校、支援学校と言っても障害の重度、情緒との重複など様々な状況によって段階があるのだということがとても良く理解できました。そしてそれだけ、きめ細やかな、教育ができる施設などの環境の整備が急務であることも改めて分かった次第であります。

お話の中で、障害を持つお母さんたちの団体から声が掛ったのも、月田市議のお人柄と日頃の精力的な活動を知ってのことだと思います。我々釧路西ロータリークラブもお役にたてることがあれば、ご協力させていただきたいと思いますので、これからもよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

《例会運営委員会 加藤委員長》

8月20日	在籍数	26名	出席免除者	6名	出席義務者	21名	「編集:小泉会員」
	名誉会員	1名	出席者	15名	欠席者	11名	出席率 57.7%

会報委員長:	佐藤 和彦	副委員長:	山本 秀基	
委員:	佐久間 好明	金田 剛	櫻田 美香	小泉 和史